

(鳥取県)森林基盤の整備及び山地災害防止による防災安全度の向上

【自主的・主体的な検証(事前評価)結果】

目標の妥当性、整備計画の効果・効率性、及び整備計画の実現可能性について、以下の観点で自主的な事前検証を行った結果、本整備計画の内容を妥当と判断した。

なお、交付期間終了後の評価方法については、対象事業に掲げる各事業を所掌する担当課(森林・林業総室、治山砂防課)において、整備計画期間内の各事業において、要整備森林面積、要整備山地災害危険地区数及び山地災害から保全を要する集落数を把握した上で、県全体の森林整備率、山地災害危険地区着手率及び保全集落増加数との比較で目標の実現状況等を評価することとした。

項目	判定	自主的・主体的な検証の内容
1 目標の妥当性		
上位計画等との整合性	○	森林整備保全事業計画との整合性が図られていること。
地域の課題への対応	○	本県の林業振興策、山地保全整備策及びその他抱える課題と整備計画の目標が適合していること。
2 計画の効果・効率性		
整備計画の目標と評価指標の整合性	○	整備計画の目標と評価指標の整合性が図られていること。
評価指標の明瞭性	○	評価指標設定の考え方や定義、計算式等が明記されていること。
目標と事業内容の整合性	○	効率的な目標達成の観点から、対象事業に掲げた各事業の実施が必要と認められること。
事業の効率性	○	対象事業に掲げた事業地区毎に、すべての効用がそのすべての費用を償うと認められること。(予算補助事業は除く)
3 計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	○	周辺住民等との合意形成や市町村の協力体制など、円滑な事業執行のための環境が整えられると見込まれること。
地元の機運	○	地元関係者から事業実施への同意が確実に得られると見込まれること。